

もくじ

・スーパードで買えます 「塩屋の天塩」	3面
・紀和庵開設10年 支える仲間たちの座談会	6～9面
・常勤職員を まとめて紹介	10面



**シニア
CO-OP
わかやま**

北東西南 (NEWS) 2021年 秋号

発行所 和歌山高齢者生活協同組合
住所 和歌山市里198-1
電話 (073)488-1180

ホームページ

人生の完成期、輝いて生きる！

組合員数 4,321名 (2021年8月31日現在)

まちなかに光る障害者アート てとてメンバーの作品も展示

和歌山市内のまちなかを美術館に見立てた催し「紀らり！まちなか美術館」が11月21日（日）まで、和歌山市で行われています。紀の国わかやま文化祭2021和歌山市障害者交流事業として、和歌山市内の観光スポット、図書館、カフェなどで様々な表現を楽しんでいる方々56人（グループ含む）による障害者アート約82作品が展示されています。

中には高齢協が運営する作業所「ワークショップてとて」メンバーの作品も並んでおり、主催する同事業実行委は「食事したり買物したりと普段出かける『まちなか』で、障害のある人のアートを楽しくもらおう企画。心がほっこりするおもてなしになれば」と期待を込めています。まちなかへお出かけの際は、お立ち寄りください。

みんなハッピーなおもてなし

紀らり！まちなか美術館

2021年10月30日（土）▶ 11月21日（日）

まちなかを美術館にみたく、障害のある方のアート作品をまちなかの店舗等に展示します。

和歌山市内（和歌山市駅、和歌山駅、和歌山城の3エリア）の店舗、ホテル等30カ所程度

10月30日（土）10:00～15:00
【ステージパフォーマンス・ワークショップ】
@和歌山駅西口地下広場（わかち広場）

【主催】
文化庁、厚生労働省、文部科学省、和歌山県、和歌山県教育委員会、和歌山市、和歌山県文化振興センター、和歌山県立文化センター、第21回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、和歌山県障害者芸術・文化祭実行委員会、第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山実行委員会、紀らりまちなか実行委員会

【問合せ】
第36回国民文化祭、第21回全国障害者芸術・文化祭和歌山実行委員会事務局 ☎073-435-1194

QRコード:

心と芯の、強いメッセージを感じさせるもの、繊細なもの、楽しさにあふれるもの、思わず笑みがこみ上げるもの。11月21日(日)まで、和歌山市内約30カ所で82作品を見ることが出来ます。個性光る作品たち

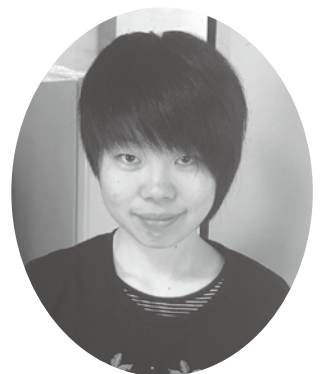


2021/10/07 15:41

ちに込められた創り手のイマジネーションが、見る人の感覚を刺激します。

実行委員会は「色遣いや構成など型にはまらない個性があふれています。表現したり描いたりするのが好きだという純粋で素直な気持ちで、見ている私たちの心を優しくしてくれます。作品に心動かされることで、いつもの日常が『きらり!』と輝くかもしれません」と来場を呼び掛けています。

高齢協が運営する作業所のメンバーの作品が、開催期間中、和歌山市役所西隣にある和菓子店「紫



香庵」で展示されています。店主様のご好意により、お地藏さまを優しいタッチで描いた作品

が包み紙にあしらわれており、作者のみさきさんは「まるっこい、あたたかい雰囲気のものを描きたかった。見た人の主観で、色々な感想をもってもらえれば」と楽しみにしています。

※発送作業、展示設営、撤収など高齢協お助け隊が協力しました!

「紀らりーまちなか美術館

みんな ハッピーな おもてなし

期間…2021年10月30日(土)～11月21日(日)

時間…協力店による

会場…JR和歌山駅、南海和歌山市駅、和歌山城周辺を中心に約30カ所

詳細…展示場所ごとの作品一覧は和歌山市ホームページ「紀らりーまちな

か美術館」で検索)で見ることができます。

問い合わせ…実行委員会073・435・1194

高齢協の ここに注目!!

⑩ 塩屋の天塩

紀伊水道の釜炊き自然塩 「塩屋の天塩」が、

わかやま市民生協の店舗で買えます!

社会福祉法人太陽福祉会・菜の花作業所は、2002年から紀伊水道の海水を汲み上げて釜炊きで自然塩の製造販売を実施してきました。この作業所は、障害のある人12人、非正規スタッフ1人は元引きこもり者、5人は短時間勤務ですが60歳以上、定年退職をした無償のボランティア4人と障害者と高齢者で運営しています。

(高齢協理事 柏木克之)



塩炊き平釜

早朝6時に釜に火をいれて、地域から集まってくる廃材を燃料にして終日炊き上げます。毎日500kgの海水を炊き上げて3% (15kg) の自然塩ができます。塩は「塩屋の天塩」の商品名

で日高・御坊地域の直売所で販売され、飲食店の調味料、パン焼菓子の材料として使用されています。

この作業場は1500和歌山県御坊市塩屋町です。町の名前にも「塩」がついているのは、偶然ではありません。塩屋町



地域の廃材を燃料にする

は、和歌山高齢協の理事であった故・東原史郎さんが地域の支援者と協力して作り上げました。

塩屋の天塩を製造している場所は、

年以上も昔に塩作りが行われていたことが分かる遺跡があるなど、塩にゆかりのある土地です。調査で製塩土器が多数出土しており、古くから塩作りが盛んに行われていたと考えられています。地元の塩屋王子神社では、塩作りの歴史がみられます。江戸時代後期に作られた石碑には「塩屋村は昔、製塩を仕事にしていた。塩屋という地名のおこりである」とあります。

自然塩は、天然のミネラルが豊富で、化学塩にない旨味があります。おにぎり、ゆで卵、焼き魚など、料理の味付けとして最適です。この度、わかやま市民生活協同組合の中之島店と岩出中央店の2店舗で店頭販売されることになりました。近隣の方はぜひ味わってみてください。



塩屋の天塩

問い合わせは太陽福祉会菜の花作業所
(0738・23・3267)

活動レポート

断水騒動 支援に感謝



時期：10月 場所：和歌山市（紀の川以北）
内容：約6万世帯が断水になり、高齢協事業所でも水が途絶えました。県内各地の事業所からタンクや水が多数寄せられ、紀州ライフコーディネイト様、一峰会様はじめ他法人からの支援もあり、現場職員の知恵と工夫も生きて営業を続けられました。ありがとうございました！

ささえ愛で作業所の菓子販売



開催：毎月下旬 会場：やまぐちささえ愛センター
内容：和歌山市の就労継続支援B型事業所「おぎピース」のみなさんが、定期的にやまぐちささえ愛センターでシフォンケーキやクッキーの販売に来てくれています。職員やご利用者さまに大変好評で、30分も経たないうちに完売することもありました。

新型コロナウイルスの猛威 高齢協にも

新型コロナウイルス第5波に見舞われた夏。和歌山高齢協の介護事業所でも初めて、感染者が確認されました。また、複数の事業所で濃厚接触者が確認されるなど対応に追われましたが、なんとか事業を止めることなく、感染拡大を防ぐことができました。（9/30時点）

〈わかやま訪問介護事業所〉

8月にご利用者さまと職員の感染が確認されました。当該職員が接触したほかのご利用者さまや職員も保健所の指導のもとPCR検査を実施し、拡大を最小限に抑えることができました。

... ..

当法人では昨年夏に感染発生時のマニュアルを作成済みで、マニュアルに沿って事業所、保健所、本部が連携し、シフト調整や事業所の消毒、外部への報告などに取り組みました。

ご利用者さま及び職員の検温、抗原検査キットの活用、職員及び組合員向けの感染対策学習会を開き、引き続き感染対策を行います。

〈伊都・橋本事業所〉

8月に職員家族の感染を確認。濃厚接触者となった職員はPCR検査を受け、陰性だったため、休みを経て復帰しました。

〈れくらん〉

8月に他社の感染者と接触のあった職員が濃厚接触者となりPCR検査。陰性だったため休みを経て現場復帰しました。

〈白浜ケアプランセンター〉

9月に職員家族の感染を確認。濃厚接触者となった職員はPCR検査で陰性と判明しましたが、念のため事業所への立ち入りを控えるためテレワークで働きました。

10月～12月は生協強化月間！

～新規加入&増資にご協力ください～

毎年10～12月は「生協強化月間」です。高齢協だけでなく、市民生協、医療生協など様々な生協が、それぞれの地域活動や事業に取り組み、運動拡大を図ります。和歌山高齢協では、期間中に組合員を100人、出資金も250万円増やすことを目標に取り組みます。今号の終面に新規加入と増資に必要な申込書をつけてありますので、ぜひとも身近な人たちにお声かけいただき、高齢協本部までお届けください！

〈高齢協組合員になるメリット〉

- ・通信が年4回届く（高齢者の様々な地域活動が知れる）
- ・高齢協が管理する施設（紀和庵、ささえ愛センターなど）を組合員価格で使える
- ・身の回りの心配事などを相談できる（毎月第2木曜になんでも相談電話を開設中）
- ・お助け隊のサービスが利用できる（掃除や剪定など安価にお願いできます）
- ・多彩な組合員活動に参加できます（体操、歌、お月見など季節の行事も）
- ・このほか、それぞれの「やってみたい」を組合員で助け合いながら実現していきましょう

〈強化月間中で注目!!〉・終活講座を開催（別添チラシをご覧ください!）

■新規加入・増資の方法

裏表紙の申込書をご活用ください!

①所定の加入（増資）申込書にご記入ください。

②出資金（一口1000円～）と申込書を、高齢協の各事業所か本部へご持参ください。

※出資金振り込みの場合…紀陽銀行東和歌山支店 普通 1647037

和歌山高齢者生活協同組合 理事長 田中秀樹

お問い合わせは本部事務局（和歌山市里198-1 電話073-488-1180 FAX073-488-1181）

紙上で実践！すこやか講座③

フレイル予防には日々の運動が必要となるのですが、前提として、バランスの良い食事を摂れている必要があります。今回は自身の食事内容を評価していただきたいと思います。

直近1週間の食事を思い出し、バランスシート欄に記載されている食品群のうちほぼ毎日食べているものは『1点』、そうでないものは『0点』とし、合計点を出してみてください。

合計点が7点以上あれば、バランスの良い食事が出ています。7点未満の場合は、0点の項目をなるべく摂取するように頑張って下さい。

また、筋肉や骨、臓器、皮膚など体を構成する成分の多くが『たんぱく質』からできています。たんぱく質不足であると、筋肉の減少や肌トラブル、体力や免疫力の低下を招きます。バランスシート左欄5つは比較的たんぱく質を多く含む食品です。この辺りも意識して食事をしていただければと思います。

バランスシート

肉類		緑黄色野菜	
魚介類		海藻類	
卵		いも類	
大豆類		果物	
牛乳		油を使った料理	

講師プロフィール



岡 利樹（デイサービスUUGO所長）

2016年4月から2019年3月まで和歌山高齢者生活協同組合の職員（デイサービス れくらん）として勤務し、現在は理事。2019年9月に紀の川市にデイサービスUUGOを開設。運動・栄養・社会参加に注力したサービスを実施中。また、紀の川市の65歳以上の方を対象とした配食サービスも実施中。

組合員座談会 いっぱく亭の仲間たち

座談会の趣旨
 組合員のみなさんが地域で生き生きと活動できるよう、高齢協では和歌山市中之島に活動拠点「いっぱい亭〜紀和庵」を設けています。現在は組合員によって自主的な運営、管理がされており、2021年に開設10年目を迎えました。今回はこの運営、管理に携わるみなさんにお集まりいただき、思い出を振り返りつつ、活動を続ける中で感じる楽しさや苦勞、続けてこられた秘訣を探ります。

語り手

神谷 治良さん

和歌山高齢者生活協同組合元副理事長。

脳トしや健康体操を指導し、上田さん、吉岡さんの

よき相談役として紀和庵を応援しています。

上田 眞利子さん

JR紀和駅前の通りで花や総菜を販売する上田商店（現在は閉店）を営んでいます。

店先はいつも近所の人が集まる「だまり場」になっています。

人気行事「名曲喫茶」の司会を務めます。

池田 香弥さん

マスターの広瀬さんの送迎を担当しています。

吉岡 賀世さん

上田さんと二人三脚で紀和庵の管理を担当し、どこに何を置いてあるかすべて把握しています。気持ちよく利用するための要です。

【いっぱい亭〜紀和庵とは】

戦前からある診療所を改装した古民家。2011年に高齢協が借り受け、毎週火曜と木曜に組合員による自主活動（絵手紙や体操の教室、歌を歌う会など）のほか、パソコンサークルの活動も長年続いています。

島 「いっぱい亭〜紀和庵」。いい名前ですね。みなさんで考えたのですか？

上田 もともと組合員で旅行にでかける活動があり、高齢協が拠点として紀和庵を貸してくれました。旅行の帰りのバスの中で、愛

称をみんなで考えて「いっぱい亭〜紀和庵」に決まったんです。そのころ、旅行は何人くらいで行ってましたか。

上田 高齢協の事務員さんといっしょに参加しての10人近くです。神谷さんが旅行でシルクのネックチーフを買ってきてくれて、今も大事

事においてあります。

島 この場所が、活動の拠点になったきっかけは？

池田 地元の人がある日、自宅のお風呂で1人で亡くなっていました。孤独死を地域でなくすため、お互いの無事を確認するきっかけづくりにと始まったと聞きます。

上田 高齢協事務所の隣にお住まいの方でした。そういうでき事があって、みなさんの活動につながっているんですね。

島 みんなで準備をしたんです。机もそろえて、床は当時高齢協の副理事長だった福

聞き手

島 久美子さん

和歌山高齢者生活協同組合副理事長。



上田さん・池田さん

田さんがじゅうたんを敷いてくれました。

島 安否確認の必要性だけでなく、そこから地域のみなさんのニーズが集まって紀和庵の活動が広がってきたという感じがします。最初はどんな活動から始まったんですか。

神谷 2007年の記録では、「団塊パワープロジェクト」の活動があります。地域おこし活動で、当時パソコン教室は亀井日出夫さんが中心となって引っ張ってくれてました。

吉岡 紀和庵でパソコン教室が始まったことを、当時聞いたことがあります。

池田 私も、上田さんとパソコンを習った思い出がありますよ。

島 当時からパソコンを習いたいという方がたくさんいらっしゃいますね。

神谷 また、桃山町で鶏を育てて卵を出荷する、「ロジックプロジェクト」がありました。

上田 そうそう。当時高齢協の事務所では、卵などを売っていたし、お酢で磨くといいて言っていて、みんなで卵を磨きましたね。たくさんの方が手伝ったりして賑わっていました。

島 ……
地域の人たちが集まって楽しむ活動は、どんなことをされていたのですか？

池田 紀和庵の前で餅つきをしていました。

神谷 ソーメン流しも、したなあ。季節感のある行事をいろいろしてきました。

吉岡 ソーメン流しでは、長い竹を切り出してきて、がんばって作ってくれたんだけど、蚊がいっぱい飛んで大変でした。それから、お月見も思い出深いです。

吉岡 ほかに、味噌つくりや茶摘みに行ったりと、旅行企画も多彩でした。



パソコン教室



ソーメン流し

上田 梅干しの収穫に紀南へも行きましたね。

吉岡 花見は、前は大新公園までみんなで歩いたけれど、今は歩くのも大変になってきたので、最近は紀和駅前で開くようになりました。地域のみなさんの弾む笑顔が目に見えられますね。

島 ……
紀和庵の現在の活動について聞かせてください。

上田 火曜と木曜は欠かさず開いています。最初は行事から始まり、9年を経て定期的に集まるようになり、「ここへ来ればだれかに会える」という大切な居場所になってきたんですね。長年活動を続ける中で、ご苦労もあったと思いますが、どのようにして継続してきたのですか？

神谷 上田さんと吉岡さんのお二人の存在は、絶対不可欠でした。吉岡さんは、紀和庵をいつもきれいに保ってくれています。どこに何を置いてあるのか把握してくれていて、昔のものでもパツと取り出してくれるんですね。上田さんは、みんなの気持ちを上手にまとめてくれているように思います。

吉岡 「今頃は休もつかない」と思っても、やっぱり行くこうという気持ちになるんですよ。私は、定期的な活動が開催されるようになってから来るようになりました。以前は近所で店を開いていた姉の手伝いをしていました。閉店してから紀和庵へ来るようになったんです。

島 そんな歴史の中で、活動に参加してくれる人、掃除や整理・管理をしてくれる人、人と人のつながりを守ってくれる人、と大切な役割分担が上手にできているんですね。そして、地域のたくさんの方たちが、活動に参加されている意義も大きいのでは？

吉岡 近所だけでなく、遠くからも。和歌浦から1時間かけて自転車で、途中休憩をしながら来てくれる人もいますよ。

上田 距離もすごいので大変だと思いますが、楽しみにして来てくれます。週2回、欠かさず来てくれるんですよ。

島 往復2時間！ それだけの魅力が紀和庵にはあるんですね。健康にもよさそうです（笑）。

島 ……

神谷 93歳で自転車で来られる人もいますね。

島 高齢になって「出かける場所」があることは、大きな意味があるといわれています。一人暮らしの方から、「ずっと家にいると朝から一日中声も出さないのよ。お腹もすかないから、食事もおいしくないわ」と聞いたことがありますよ。紀和庵があることは、高齢者のみなさんの心身の健康を支えることにつながっていますね。

上田 「□ナ」の今は特にそうですね。一人暮らしの人には、「紀和庵で泊まりたい」という人もいました。家に帰っても一人で寂しいからね。奇数月に開いている「名曲喫茶」のマスター、広瀬さんは73歳で講師をしていていますが、参加者だけでなくご本人の楽しみにもなっているんですよ。みんなと会って、しゃべることが生きがいになっています。

島 だれかが講師で、だれかが参加者、そんな関係ではなくみんなが楽しい時間を、創り合っている、感じ、講師と参加者の境目がなくなっている感じがですね。

池田 そうですね。上下関係でないのが楽しさの秘訣かもしれません。平均年齢ってどのくらいですか。

吉岡 私の姉が85歳で一番上かな。若い人でも69歳くらいです。

島 そういう年代で人と話したり、お出かけしたり、心がうきうきすることは本当に大切ですね。

池田 思い出話をするのはいいことだと思っています。ただ、思い出「だけ」になるのは寂しく、「ここで明日は何しよう」「次どんなことができるかな」とお話を持ち寄り、相談できるのが良いと思います。一人で思い出すより、みんなで思い出すのが一番いいです。ここではそんな場面がたくさんあります。

上田 みんなでワイワイ話して、発散して、支え合っているとこの感じがするわ。

島 一番長く続いている活動は何がありますか。

池田 「歌をうたおう」「絵手紙」「体操教室」かなあ。「名曲喫茶」は7

年続いています。

島 この場所が拠点になってから始まったいろんな活動が、継続されてきたのですね。

上田 そうですね。それぞれの趣味に合わせて、活動を選んで来てくれています。

島 何人ぐらいの参加がありますか。

神谷 5〜6人かなあ。「名曲喫茶」は10人以上の時もありましたね。

池田 多い時は20人以上で。「名曲喫茶」だからティータイムもあるので、ケーキを用意するのが大変でした(笑)。

吉岡 座る場所をつくるのに、机を継ぎ足して並べたり…。にぎやかでした。大変だったけど楽しかったね。

神谷 今は「□ナ」の影響で参加者が減ったり、活動が休止になったり。「□ナ」でしばらく来なくなると道を思い出せず来られなくなった人もいます。外出することが、いかに大事か身に沁みました。



吉岡さん

島 これまで活動を続ける中で、節目のような時期はありましたか？

池田 高齢協の本部が山口地区へ移転したのを機に、上田さん、吉岡さんが神谷さんと相談して全部準備してくれるようになりました。移転を聞いたときは、どう感じましたか。

上田 まず、「ここは楽しい場所なので、置いておいてほしい」との願いがありました。移転後に本部のサポートがなくなるといふことは、どうしようもない。でも、みんなが楽しみにしているのを見放せなかったわ。「あこの段取りはお任せします」と言われて…。みんなの助けを借りてなんとかできてきたと思っています。

池田 利用のルールなどを全部書き出して、冷蔵庫に張り出すなど工夫もしましたね。

島 本部の移転でみなさんの力が一層発揮され、紀和庵の活動にとってはプラスになったかもしれないですね。

島 これからのことは、このように感じておられますか。

吉岡 「コナが終息したら、また一人でも多くの人に来てもらいたいですね。」

神谷 どうやって次世代にこの場所を引き継げるか、担い手が気になります。自分を含めみんな10年後が心配なんです。60代の若い人がちよくちよく来てくれているので、そういう人たちが継いでくれるとありがたい。「ここへ来るのが楽しみ」という人のために、続けていければ…、と思っています。



神谷さん

上田 私もやはり「跡継ぎ」のごことが気になるわ〜。

池田 新しい活動メニューの開発も必要ですね。島さんの音楽仲間の笹木さんが、先日、名曲喫茶に来てくれました。69歳の若手(!?)です。みんなを楽しませる先生にもなれる方なので、続けてかかわってもらえればいいなあと思っています。

島 そんな風に活動に興味のある人たちが、どんどん加わってくればいいですね。

池田 上田さんの「あと釜」になれるかどうか分からないけれど、私なりに後継者修行をしたいとの気持ちもあるんです。上田さん、吉岡さんたちには、まだまだ元気で活動に参加してもらいながら、私はお二人のあとを追いかけていこうと思っています。(みなさんの拍手)

島 すごく心強い言葉が聞かれましたね！みなさんのお話を聞いていて、紀和庵での活動、そしてこの場所がかけがえのない「組合員のみなさんの居場所」になっていることが、本当によくわかりました。きょうは、どうもありがとうございました。

(2020年12月1日 紀和庵にて)

〜聞き手からのメッセージ〜

座談会の中で、「楽しい(楽しかった)、みんなが楽しみにしている」というキーワードがたくさん出されました。活動を長く続ける中では、心地よいことばかりではなかったと思います。それも含めて、笑顔で「楽しい」という言葉に表現されるみなさんは、本当に素敵でした。

根底に感じられるのは、「人生の完成期を輝いて生きる」という、私たち和歌山高齢協のテーマに組合員自らが主体的にとりくむ姿勢です。一人はみんなのために、みんなは一人のために…。2018年、サポートを受けていた本部が移転するという節目の時、みなさんの主体的な判断の中に、その精神が貴がれました。

みんなが楽しいと思える場所や活動を続けたいという想いから、いっしょに活動を支えることが生きがいになり、さらには参加する人たちの生きがいを育む。その営みは、地域の「場所」や「人」をゆたかにつなぐ組合員の協同活動へと発展してきました。9年間、紀和庵の活動を支えてこられたみなさんのパワーには脱帽です。心からの敬意を表します。

私たちの国は、世界でもトップクラスの長寿国です。日本人の平均寿命(2018年)は、男性は約81歳で世界第2位、女性は87歳で世界第1位でした。来る2025年には、団塊世代が全員75歳以上の後期高齢者になります。ますます高齢協の出番！が増えてくるでしょう。先輩組合員さんたちの活動に学びながら、これからどんな楽しい活動を創りだせるだろうか…。よい意味での(!?)動悸がとまらなくて、わくわくしています。ぜひ、いっしょに活動を創りましょう。



副理事長 島 久美子

・和歌山高齢協20周年記念誌『輝く！高齢者たち〜和歌山高齢者生活協同組合20年の挑戦!』より転載。

・上田さんが開いていた上田商店は、2021年9月に閉店しました。

常勤職員紹介 (2020年～採用)

田端 円



かみとんだおたっしや館
ケアセンターおたっしや倶楽部田辺事業所
介護福祉士

皆様が楽しく暮らせるよう頑張らせていただきます。

恵中 清佳



ケアセンターおたっしや倶楽部田辺事業所
管理者 サービス提供責任者 介護福祉士

サービス提供責任者として精一杯頑張ります。宜しくお願いします。

瀧瀬 秀子



かみとんだおたっしや館
ケアセンターおたっしや倶楽部田辺事業所
看護師

ご利用様が日々安全安楽に過ごせますよう努力させていただきます。

鶴岡 恭子



伊都・橋本事業所
訪問介護員

利用者様の笑顔を見るのが幸せです。たくさんの笑顔に出逢えるよう頑張ります。

木下 里香



わかやま訪問介護事業所
訪問介護員

キャリアアップを目指して入職。好奇心旺盛で朗らかな性格ですが、打たれ弱いことがたまにキズです。

小杉 和



かみとんだおたっしや館
ケアセンターおたっしや倶楽部田辺事業所
初任者研修

一人一人に合った介護を目指します。

村上 正道



白浜ケアプランセンター
ケアマネージャー

上富田町出身です。以前はデイサービス勤務で、趣味は将棋です。

柴田 泰代



やまぐちおたっしや館
生活支援サービス員

いつも笑顔を絶やさず、利用者様が過ごしやすい空間を作り出せるよう努めます。

南本 友子



和歌山ケアプランセンター
ケアマネージャー

もっと学びを深めようとして入職しました。まだまだ未熟ですが頑張ります。

中野 文



御坊・日高事業所
サービス提供責任者

在宅生活を支えるため、精一杯頑張ります！

山崎 浩司



ワークショップてとて
生活支援員

57歳のオールドルーキー。最後のキャリアを人のお役に立てる福祉の仕事に決めました。

玉置 政也



白浜ケアプランセンター
ケアマネージャー

居宅ケアマネは人生初なので緊張と不安がありますが、お役に立てるよう頑張ります。

映画紹介「ムービーガイド」

作品名：スパイの妻

監督：黒沢清 2020年製作
ヴェネチア国際映画祭銀獅子賞受賞作



軍靴の響きが聞こえる時代。貿易商の夫が知った国家機密を巡って、幼馴染の軍関係者との間で揺れる妻の姿を描く。貿易商を演じる高橋一生がいい。国家機密を公表しなければならないという使命感。巻き込まれる妻を守るとうとする気持ち。そのふたつを両立させる為についた嘘。高橋のミステリアスな佇まいが、際立っている。妻を演じる蒼井優。何も知らずに夫を愛する令嬢から、事実を知ってからの闘う女性への変貌が見事だ。

わかやま訪問介護事業所 島 哲也

寄付者に書籍謹呈

前号で、ワークショップてとての増改築工事に向けた寄付および出資・増資のお願いをさせていただきました。たくさんの方の応援メッセージと共に、これまでに約50万円のご寄付や出資をいただいております。

このお気持ちに感謝のしるしとして、3,000円以上ご寄付くださった方に、和歌山高齢協20周年記念書籍を1冊謹呈しております。高齢協の歴史をたどりつつ、これからの高齢協も応援いただければと思います。

なお、記念書籍は和歌山県内の各図書館に送らせていただいております。お近くの図書館に立ち寄られた際は探してみてください。

お問い合わせ先 高齢協本部 073-488-1180
(月～金、午前9時～午後5時)



和歌山高齢者生活協同組合の姿

和歌山高齢者生活協同組合は組合員さんによる互助組織であり、互いの困りごとを助け合う集団です。生きがいづくり事業やお助け隊による生活支援など活動は多岐にわたり、介護・福祉事業にも力を入れています。

◎介護・福祉事業所（和歌山県内 13ヵ所）

- わかやま訪問介護事業所（訪問介護）
和歌山市楠見中 240-49 電話 073-455-7979
- 和歌山ケアプランセンター（ケアプラン作成）
和歌山市中之島 758 電話 073-424-5295
- やまぐち おたっしや館（サ高住）
和歌山市里 198-2 電話 073-462-1055
- やまぐち訪問介護事業所（訪問介護）
和歌山市里 198-2 電話 073-462-1055
- れくらん（デイサービス）
和歌山市里 198-2 電話 073-462-5558
- ワークショップてとて（障害者就労継続支援B型事業所）
和歌山市里 266 電話 073-461-6756

- 伊都・橋本事業所（訪問介護）
橋本市高野口町伏原 243 電話 0736-43-1546
- 伊都・橋本ケアプランセンター（ケアプラン作成）
橋本市高野口町伏原 243 電話 0736-44-2330
- 御坊・日高事業所（訪問介護）
御坊市園 397-2 電話 0738-23-0396
- かみとんだ おたっしや館（サ高住）
西牟婁郡上富田町生馬 3225-19 電話 0739-47-0866
- 田辺事業所（訪問介護）
西牟婁郡上富田町生馬字救馬溪 185-7 電話 0739-47-0010
- 白浜ケアプランセンター（ケアプラン作成）
西牟婁郡白浜町才野 1322 電話 0739-34-2672
- 白浜ぬくもりの里（デイサービス）
西牟婁郡白浜町才野 1322 電話 0739-34-2172

◎組合員による活動拠点（施設の使用、問い合わせなどは本部 073-488-1180へ）

- やまぐちささえ愛センター 和歌山市里 198-3
- 和我楽の家 紀の川市上野 299-1
- いっぶく亭～紀和庵 和歌山市中之島 782

◎組合員の活動（ご参加ください）

【お助け隊】和歌山、伊都、御坊、田辺を中心に活動。暮らしの中の困りごとの解決依頼を受け、現役時代の知識や経験を生かして有償ボランティアで活動する。

【JIAS PC（パソコンサークル）】月曜と金曜、紀和庵にて。パソコンを使つてのアルバム作成やワープロの練習、使い方の教え合いなど。
(北村さん 090-7107-0892)

【どこ竹@わかやま】竹とんぼ作りの出前教室を小学校やイベント会場で開催。(石橋さん 090-2287-9588)

このほか、ささえ愛センターや紀和庵では、健康体操や絵手紙教室、名曲喫茶など組合員による自主企画が行われています。

◎本部（〒649-6311 和歌山市里 198-1 電話 073-488-1180 FAX073-488-1181）

新規出資・増資申込書

和歌山高齢者生活協同組合 殿
私は、出資金を添えて申し込みます。

組合員 No. _____

<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 増資		1口=1,000円		※太枠内のみご記入ください							
申込日	年 月 日	□数	□	出資額	百	十	万	千	百	十	円
フリガナ				西暦				性別			
氏名				生年月日	年	月	日	男・女			
フリガナ											
住所	〒										
電話	☎ - -										
趣味				資格・免許							
特技				勤務先	会社名： 住所： <small>県外にお住まいの方はお勤め先をご記入ください</small>						

アンケート 高齢協で興味ある分野、活動に○をつけてください

- 受けたサービス
 - ケアセンターおたっしゃ倶楽部
 - 生活支援
 - 成年後見サポート
 - おたっしゃ館（高齢者住宅）
 - おたすけ隊
 - 葬送
 - なんでも相談電話
 - その他（_____）
- メンバーに加わりたい活動
 - ケアセンターおたっしゃ倶楽部の職員
 - その他（_____）
 - おたすけ隊
- 参加したい活動
 - パソコンサークル
 - たまり場
 - その他（_____）
 - 講演会、学習会

紹介・担当者	間柄	入金処理日	入力	発行	経理
		年 月 日			
メモ					

キリトリ

出資金預かり証



下記金額、確かに受領いたしました。
本証は、出資証券発行後は無効となります。それまでは大切に保管してください。
預かり者無記入のものは無効となります。

預かり日	年 月 日	□数	□	出資額	百	十	万	千	百	十	円
出資者	様			預かり者							

和歌山高齢者生活協同組合